

野口英世アフリカ賞推薦要項

平成30年3月30日

賞の目的及び概要

感染症の蔓延は人類共通の脅威です。アフリカはこの問題に最も深刻に直面する地域の一つであるとの認識の下、日本国政府は平成18年7月、野口英世アフリカ賞を創設しました。野口英世博士（1876～1928年）の医学の進歩への揺るぎない信念及びアフリカにおける自己犠牲を伴う研究への献身は、現在もなお我々に大きな励みと指針を与え続けています。本賞は、この理念と、特に問題の解決が求められている地域であるアフリカでの感染症等の疾病対策及び公衆衛生推進の観点に立脚し、以下の2つの分野において顕著な功績を挙げた個人又は団体を顕彰し、もってアフリカに住む人々、ひいては人類全体の保健と福祉の向上を図ることを目的としています。

医学研究分野 上記の目的に合致する研究功績を挙げた個人を顕彰します。

医療活動分野 上記の目的に合致する活動功績を挙げた個人又は団体を顕彰します。

授賞式は、TICAD（アフリカ開発会議）の我が国における開催に合わせ行われます。第3回野口英世アフリカ賞の受賞者は、平成31年に決定されます（第1回授賞式は平成20年5月、第2回授賞式は平成25年6月に行われました。）。

表彰は、表彰状、賞牌及び賞金（各分野それぞれ1億円）により構成されます。

受賞者は、国内外の推薦を受けた個人又は団体の中から選考されます。医学研究分野は、独立行政法人日本学術振興会に設けられる医学研究分野推薦委員会が選考します。また、医療活動分野は、世界保健機関アフリカ地域事務局に設けられる医療活動分野推薦委員会が選考します。それぞれの分野の受賞候補者を最大3名（医療活動分野は団体も可）まで絞り込み、その中から、内閣府に設けられる野口英世アフリカ賞委員会が最終候補者を選考します。最終的には、内閣総理大臣が野口英世アフリカ賞委員会からの推挙に基づき、受賞者を決定します。

推薦要領

1. 対象分野

■ 医学研究分野

- ・ 基礎医学に関する研究
- ・ 臨床医学に関する研究
- ・ 医学に密接に関連した生命科学の諸領域の研究

■ 医療活動分野

- ・ 現場において展開される疾病対策及び公衆衛生の改善に係る医療／公衆衛生活動

2. 候補資格及び募集要件

候補者の国籍・年齢・性別は問いませんが、生存者に限ります。それぞれの分野における募集要件は下記のとおりです。

■ 医学研究分野

- ・ 原則として1研究テーマにつき1名とします。ただし、共同研究の場合は3名を上限とします。

■ 医療活動分野

- ・ 団体の場合は、現在活動している団体に限ります。
- ・ 原則として1名又は1団体とします。ただし、1名以上ないし1団体以上がチームで活動する場合は3名又は3団体を上限とします。

3. 審査基準

野口英世アフリカ賞は、アフリカに住む人々が直面する問題に取り組むフィールド重視の研究／活動に光を当て、野口英世博士の卓越した勇敢さ、フロンティア精神や人類愛・献身の精神を想起させる医学研究・医療活動を顕彰します。そのような基本理念を踏まえ、以下の基準に従い審査します。

■ 医学研究分野

- ・ アフリカにおいて発生している感染症その他の疾病に関し、病理学の更なる理解増進に資する研究、又は、人間・環境生態学的側面の更なる理解促進に繋がる創造的・画期的な概念の構築に資する研究、又は、(1)臨床管理、(2)生態系の管理、(3)治療の改善に資する研究であること。
- ・ 研究成果が現実にアフリカにおける感染症その他の疾病の抑制や治療の対策の前進に貢献している、又は近い将来貢献することが予見されること（アフリカ各国又は国際機関の政策に重要な影響を及ぼした、又は及ぼすことが期待できるもの、アフリカの研究者又は研究機関の国際的な研究推進・交流につながるものが期待されるものも含む）。
- ・ 研究成果がアフリカを中心とする地域に貢献するものであること。

■ 医療活動分野

- ・ アフリカにおいて発生している感染症その他の疾病への対策の改善又は公衆衛生の推進を目的として行われる活動であること。
- ・ アフリカに住む人々、特に貧困層の保健と福祉の向上への広範かつ直接的な貢献が認められ、ユニバーサルヘルスカバレッジ達成に資する活動であること。
- ・ アフリカの現場において、一定の目標と計画の下に5年以上継続的に展開される活動であること。当該活動の終了後もその成果が持続可能な形で展開され、アフリカの他地域の類似状況に対処するための参考・教訓となるものであること。
- ・ 活動の証拠が、学術誌、会計資料、報告書等としてまとめられていること。
- ・ 政治的、思想的、宗教的な背景によって受益者を選択したり、排除したりしていないこと。

4. 推薦に際し必要な情報

推薦書には以下の情報を記入・添付願います。審査は推薦書に記入された情報に大きく依存しますので、正確、詳細、最新を心がけてください。推薦書は英語にて作成願います。なお自己推薦は認めません。

- ・ 候補者の業績概要（50語程度）
- ・ 本賞の趣旨に合致する候補者／候補団体の医学研究／医療活動の事実認定に係る文献リスト（特に重要なもの4、5点に印をつけること）
- ・ 候補者／候補団体の医学研究／医療活動が、どのような形で、なぜ、アフリカにおける感染症その他の疾病対策に貢献があったと考えるかについての説明（任意、2ページ以内）
- ・ 候補者／候補団体の医学研究／医療活動に関する簡単な経歴
- ・ 候補者／候補団体の医学研究／医療活動について熟知する他の専門家等のサポートレター（任意。5通以内）

推薦書は「野口英世アフリカ賞」ホームページ
(<http://www.cao.go.jp/noguchisho/index.html>) 及び独立行政法人日本学術振興会の
ホームページ(<https://www.jsps.go.jp/english/e-noguchiafrica/index.html>)からもダウンロードにより印刷することができます。

5. 送付先

医学研究分野は、電子申請システムを利用願います（できない場合はメールでも可。MS WORD 又は PDF ファイル双方可。宛先は下記のとおり。）。

医療活動分野は、メール（MS WORD 又は PDF ファイル双方可）にて下記宛先まで送付願います。

電子媒体での推薦が困難な場合は郵送を受け付けますが、ファックスでの送付は御遠慮下さい。

■ 医学研究分野

独立行政法人日本学術振興会 野口英世アフリカ賞 医学研究分野推薦委員会 事務局
〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-3-1

電子申請システム URL : <https://www.jsps.go.jp/english/e-noguchiafrica/index.html>

電子メールアドレス : nh-africa@jsps.go.jp

■ 医療活動分野

Hideyo Noguchi Africa Prize Medical Services Selection Committee

WHO Regional Office for Africa (AFRO)

Cité du Djoué, P.O.Box 06 Brazzaville, Republic of Congo

電子メールアドレス : noguchiprize@who.int（4月中旬開設）

6. 推薦受付締切

平成30年7月31日（火）必着とします。

7. 問合せ先

■ 医学研究分野の推薦

独立行政法人日本学術振興会 野口英世アフリカ賞 医学研究分野推薦委員会
〒102-0083 東京都千代田区麴町 5-3-1

電話 03-3263-1938/1883

電子メールアドレス : nh-africa@jsps.go.jp

URL : <https://www.jsps.go.jp/english/e-noguchiafrica/index.html>

■ 医療活動分野の推薦

Hideyo Noguchi Africa Prize Medical Services Selection Committee
WHO Regional Office for Africa (AFRO)

Cité du Djoué, P.O.Box 06 Brazzaville, Republic of Congo

電話 + (47 241) 39100 / + (47 241) 39695 / + (242) 05770202

電子メールアドレス : noguchiprize@who.int (4月中旬開設)

URL : <http://www.noguchiprize.afro.who.int/>

■ 賞全体に関すること

内閣府 大臣官房 企画調整課 野口英世アフリカ賞担当室

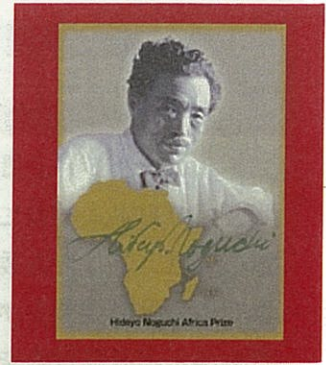
電話 03-5501-1774, F A X 03-3502-6255

電子メールアドレス : g.noguchi-prize@cao.go.jp

URL : <http://www.cao.go.jp/noguchisho/index.html>

以 上

野口英世アフリカ賞 ニュースレター



発行 内閣府 野口英世アフリカ賞担当室

第3回野口英世アフリカ賞に向けて

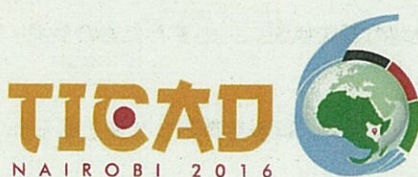
授賞式は2019年のTICAD7に合わせて開催されます



(左から) 第1回(2008年)の受賞者:ブライアン・グリーンウッド博士・ミリアム・ウェレ博士
第2回(2013年)の受賞者:ピーター・ピオット博士・アレックス・G・コウティエーノ博士

第3回野口英世アフリカ賞の選考プロセスが動き出しました。本賞は、アフリカの地で黄熱病の研究途上に亡くなった野口英世博士(1876~1928年)の志を踏まえ、アフリカにおける感染症等の疾病や公衆衛生への取組において顕著な功績を挙げた方を顕彰するものです。医学研究分野、医療活動分野があり、賞金は各分野1億円です。両分野の受賞候補者の公募がまもなく始まります。

第3回野口英世アフリカ賞の授賞式は、2019年のTICAD7(第7回アフリカ開発会議)に合わせて開催されます。これまでは5年ごとに、それぞれ2008年と2013年のTICADに際して行われました。TICADが3年ごとの日本とアフリカ相互開催に改められたことを受け、2015年9月1日の内閣総理大臣決定により、本賞の授与は本邦開催のTICADに合わせ6年に一度となりました。



■TICADとは? ■Tokyo International Conference on African Development(アフリカ開発会議)の略。アフリカ開発をテーマとする首脳級の国際会議で、日本が主導して1993年に始まりました。国連、UNDP、世界銀行、AUCと共催するTICADは、国際機関・地域機関、開発パートナー国、民間企業や市民社会も参加するオープンなフォーラムです。2016年に初めてアフリカ(ケニア)で第6回TICADが開催され、第7回TICADは2019年に横浜で行われます。

「野口英世アフリカ賞委員会」キックオフ会合の開催

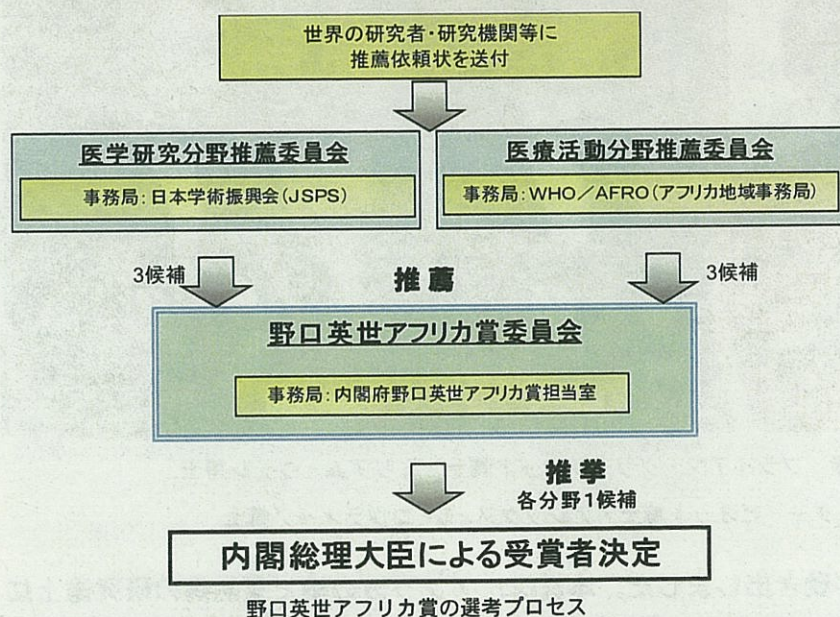
2018年3月2日内閣府において、「野口英世アフリカ賞委員会」の日本人委員によるキックオフ会合が開催されました。野口英世アフリカ賞委員会は、医学研究分野・医療活動分野それぞれの推薦委員会から推薦を受けた各分野最大3名の候補者の中から最終候補者を選考し、内閣総理大臣に推挙する役割を担います。これを踏まえ、内閣総理大臣が受賞者を決定します。

冒頭、河内内閣府事務次官より挨拶を行い、参集した委員に対し、野口英世アフリカ賞にふさわしい方を選考するようお願いしました。会合では日本人委員が顔合わせし、選考基準や今後の選考プロセス等について打合せを行いました。



「野口英世アフリカ賞」委員会キックオフ会合の様子

推薦受付は2018年4月から7月まで



野口英世アフリカ賞の推薦受付が間もなくはじまります。2500を超える世界各国の関係機関、個人に推薦依頼状が送付されるほか、内閣府のホームページから推薦に必要な様式をダウンロードすることも可能です。推薦受付は4月から7月までです。詳しくは内閣府野口英世アフリカ賞ホームページをご覧ください。
<http://www.cao.go.jp/noguchisho/>

皆様からの推薦をもとに受賞者の選考が行われます。第3回野口英世アフリカ賞の各分野の推薦基準（下記）をご確認いただき、本賞にふさわしい候補者を積極的にご推薦くださるようお願い申し上げます。

第3回野口英世アフリカ賞の審査基準

●医学研究分野の審査基準●

- ・アフリカにおいて発生している感染症その他の疾病に関し、病理学の更なる理解増進に資する研究、又は、人間・環境生態学的側面の更なる理解促進に繋がる創造的・画期的な概念の構築に資する研究、又は、(1)臨床管理、(2)生態系の管理、(3)治療の改善に資する研究。
- ・研究成果が現実的にアフリカにおける感染症その他の疾病の抑制や治療の
- 対策の前進に貢献している、又は近い将来貢献することが予見されるもの。

●医療活動分野の審査基準●

- ・アフリカにおいて発生している感染症その他の疾病への対策の改善又は公衆衛生の推進を目的として行われる活動。
- ・アフリカに住む人々、特に貧困層の保健と福祉の向上への広範かつ直接的な貢献が認められ、ユニバーサルヘルスカバレッジ達成に資する活動。
- ・アフリカの現場において、一定の目標と計画の下に5年以上継続的に展開される活動。当該活動の終了後もその成果が持続可能な形で展開され、アフリカの他地域の類似状況に対処するための参考・教訓となるもの。
- ・活動の証拠が、学術誌、会計資料、報告書等としてまとめられている。
- ・政治的、思想的、宗教的な背景によって受益者を選択したり、排除したりしていない。

第1回・第2回野口英世アフリカ賞受賞者



**第1回 野口英世アフリカ賞
受賞者 医学研究部門
ブライアン・グリーンウッド
博士（英国）**

1938年生まれ／ロンドン
大学衛生熱帯医学校教授
アフリカで30年以上にわ
たり現場に密着した研究を行

い、アフリカでもっとも多くの命を奪う感染症であるマラリアの免疫学的側面、病原体の側面及び疫学的側面の解明に貢献しました。アフリカの生態系や現実生活への深い理解に基づき、多くの学問領域を動員し総合的な研究をした点、アフリカ研究者の育成に大きく貢献した点も高く評価されました。

2008年の受賞後は、賞金を活用し、長崎大学と協力してアフリカ-ロンドン-長崎奨学金（ALN）を創設し、アフリカ人研究者を育成しました。現在も、マラリア、ギニア虫症等の感染症に関する研究を精力的に続けていらっしゃいます。



**第1回 野口英世アフリカ賞
受賞者 医療活動部門
ミリアム・ウェレ博士
（ケニア）**

1940年生まれ／ケニア国
家エイズ対策委員会（NAC
C）委員長（受賞当時）
40年にわたり、アフリカ

の人びとの健康と福祉の増進に献身しました。ケニア国家エイズ対策委員会委員長として、バランスのとれた HIV/AIDS 対応指針をとりまとめ、同国の HIV 感染率、AIDS による死亡率を減少させました。アフリカ最大の保健 NGO・AMREF 理事長を務めた当時、ケニア国家の保健分野の予算を3倍に増やし、農村部への医療サービスの拡大を指揮しました。

2008年の受賞後は、賞金を使ってコミュニティヘルスワーカーの育成、エイズ遺児ケア、青少年育成を推進しました。2013年よりモイ大学（ケニア）学長を務めていらっしゃいます。



**第2回 野口英世アフリカ賞
受賞者 医学研究部門
ピーター・ピオット博士
（ベルギー）**

1949年生まれ／
ロンドン大学衛生・熱帯医学
大学院学長

常に活動の拠点をアフリカ

に置き、HIV/エイズとエボラ出血熱をはじめ、クラミジア、結核及び淋病を含む、アフリカ大陸の多くの地域に存在する疾病についての中心的な研究を行いました。現場での研究と国際的な政策立案の双方に携わり、科学的発見や見識を世界の人びと、とりわけアフリカの人びとのために役立てました。

2013年の受賞後は、賞金を活用しアフリカ人学生・研究者への学資援助をしました。2015年、UNAIDS 事務局長時代の回顧録の訳書「ノー・タイム・トゥ・ルーズ：エボラとエイズと国際政治」（慶應義塾大学出版会）が日本で発売されました。



**第2回 野口英世アフリカ賞
受賞者 医療活動部門
アレックス・G・コウティ
ーノ博士（ウガンダ）**

1959年生まれ／
マケレレ大学感染症研究所
（IDI）所長（受賞当時）

アフリカで長く活動を続け

る HIV 感染者支援団体 T A S O で指揮をとり、アフリカで広く適用できるエイズ予防・治療のための戦略モデルを構築しました。最貧困層に焦点を当て、長い間治療が行き届かなかった人びとに対しエイズ治療を施すことに成功しました。このモデルは大陸全体に広がり、世界規模でエイズ対策に影響を及ぼしています。

2013年の受賞後は、エボラ出血熱対策、早産発生率対策、大学院制研修プログラム等の分野で一層活躍。現在は、現代医学の恩恵を途上国の貧困層に広めることを目指す非営利組織パートナーズ・イン・ヘルスのルワンダ事務所長を務めていらっしゃいます。

広報活動 ～グローバルフェスタ JAPAN2017 に出展～

2017年9月30日(土)及び10月1日(日)、東京のお台場センタープロムナードにて「グローバルフェスタ JAPAN2017」が行われ、野口英世アフリカ賞も出展しました。



野口英世博士等身大パネル

会場では、「野口英世博士等身大パネル」を展示し、パンフレットの配布や紹介ビデオの放映も行うなど、野口英世アフリカ賞について知っていただく良い機会となりました。

野口英世アフリカ賞ブースへお越しいただき、ありがとうございました。

ニューヨーク野口英世記念会 加納副代表が当室を訪問

野口英世博士のお墓は、ニューヨーク(アメリカ)のウッドローン墓地にあることをご存じですか?

お墓を守っているニューヨーク野口英世記念会の加納良雄副代表が2018年2月7日(水)に野口英世アフリカ賞担当室を訪問されました。

アフリカで野口博士が亡くなった後、その亡骸は生前所属していたロックフェラー医学研究所により船でアフリカからニューヨークに運ばれ、ウッドローン墓地に埋葬されました。しかし野口博士に親戚は居らず、墓碑の劣化は進み、長い間朽ち果てた状態になっていました。この姿に米国日本人医師会の有志が中心となり、4,000ドルの資金を投入し、修復作業が進められました。この墓碑の修復事業が契機となり、2013年に発足されたのが、ニューヨーク野口英世記念会です。以後、同会は墓碑を守り、毎年、野口博士の命日には式典を実施しています。

今後もニューヨーク野口英世記念会は、永続的に野口博士の墓碑を守り、博士の志を後世に伝えるため、寄付を募り墓守事業を継続するとともに、米国で医学研究を志す日本人学生のための奨学金事業を実施します。

同会に守られ、今も野口英世博士はウッドローン墓地に最愛のメアリー夫人とともに、静かに眠っています。

～ニューヨーク野口英世記念会について～

ニューヨーク野口英世記念会 代表 本間 俊一
副代表 加納 良雄

New York Hideyo Noguchi Memorial Society, Inc. (HNMS)
100 Park Avenue, Suite1600, New York, NY10017
URL: <http://jmsa.org/> (米国日本人医師会)



ウッドローン墓地に眠る野口英世博士の墓(写真:HNMS)
墓碑には、「科学への献身を通じ、人類のために生き、人類のために死せり」と刻まれている。

野口英世アフリカ賞基金のための御寄付のお願い

本賞の賞金のため、本賞の趣旨に御賛同いただける方々から広く寄付を募っています。皆さまからいただいた善意が、アフリカでの医学・医療の向上に活躍されている方々の活動のために使われます。(寄付は控除の対象になります。)これまで寄付をお寄せいただいた方々に厚く御礼申し上げます。

— 野口英世アフリカ賞基金への寄付実績(2018年1月時点の累計) —
521,690,972円 [個人1,992件, 法人333件(計2,325件)]
うち、2017年実績 158,000円 [個人9件, 法人1件(計10件)]

■寄付方法の御案内

御寄付は以下のウェブサイトからオンラインでお申込み頂けます。
(クレジットカード、コンビニ店舗端末、払込票(郵便局・銀行・コンビニ)、ペイジーでのお支払いが可能です。)

野口英世アフリカ賞基金ホームページ <https://www.jica.go.jp/partner/private/kifu/03.html>

《寄付に関するお問合せ》

JICA(独立行政法人 国際協力機構)国内事業部 市民参加推進課 寄付金担当
フリーダイヤル:0800-100-5931 / FAX番号:03-5226-6377

HIDEYO NOGUCHI AFRICA PRIZE NOMINATIONS GUIDELINE

March 30th, 2018

PURPOSE AND DESCRIPTION OF THE PRIZE

The spread of infectious diseases poses a common threat to all humankind. Mindful that Africa faces this scourge most acutely, the Government of Japan established the Hideyo Noguchi Africa Prize in July 2006. In memory of Dr. Hideyo Noguchi (1876-1928), whose belief in medical advancement and self-sacrificing activities in Africa remains a beacon of inspiration to all, the Prize carries forward his ideals and aspirations for advancing the global fight against infectious and other diseases that prevail in Africa. In so doing, the Prize works to improve the health and welfare of the African people while contributing to the welfare of all humankind.

The Prize consists of two categories: *Medical Research* which honors individual(s) and *Medical Services* which honors individual(s) and organization(s).

This time, the award ceremony will be held to coincide with the 2019 7th Tokyo International Conference on African Development (TICAD) in Japan. This will be the third in the succession of Prizes, the first being awarded in 2008 and the second in 2013.

The Prize is awarded in both the medical research and medical services categories, with a citation, medal and 100 million yen (equivalent to about one million US dollars).

The selection process comprises two stages: (1) a recommendation of up to three candidates by each of the two sub-Committees, one for the medical research category established under the auspices of the Japan Society for the Promotion of Science (JSPS) and the other for the medical services category established under the African Regional Office (AFRO) of the World Health Organization, and (2) a final deliberation of the candidates is made in the two categories by the Hideyo Noguchi Africa Prize Committee, which makes referrals to the Prime Minister for final decision.

NOMINATION GUIDELINES AND REQUIREMENTS

1. SCOPE

- Medical Research
 - Basic medical research
 - Clinical medical research
 - Research in all fields of life science closely related to medicine

- Medical Services
 - Field-level medical/public health activities to combat diseases and advance public health

2. ELIGIBILITY

No distinction will be made based on the nationality, age or gender of the nominees, who are limited to people still living. Nominee eligibility for the two categories are as follows:

■ Medical Research

- Nominations are in principle to be for one individual. In the case of joint research, however, a maximum of three individuals will be considered.

■ Medical Services

- In the case of nominating an organization, nominations are limited to one currently active organization.
- Nominations are in principle to be one individual or one organization per activity. Under exceptional circumstances, however, when more than one individual or organization work as a team, a maximum of three individuals or organizations will be considered.

3. NOMINATION/SELECTION CRITERIA

The Hideyo Noguchi Africa Prize shines a light on important research and activities carried out in the field to tackle directly issues affecting people who live in Africa. It recognizes medical research and medical service activities that call to mind Dr. Noguchi's gallantry, frontier spirit, spirit of dedication and love for humanity. It is upon these basic precepts that the following selection processes are based.

■ Medical Research

- The research has established original and/or milestone concepts for better understanding the pathology or the human and environmental ecology of infectious or other diseases prevalent in Africa, or has improved (1) clinical management, (2) ecological management, or (3) patient therapy relevant to such diseases.
- The research results have in practice contributed, or will contribute in the near future, to improving measures for controlling or treating infectious or other diseases prevalent in Africa. This includes research that has had, or is expected to have, an important influence on the policies of African governments or on international agencies. This also includes research that is expected to link African researchers or African research organizations to programs and initiatives that advance international research and collaboration.
- Research results that contribute to other regions but are centered on Africa.

■ Medical Services

- The activity is aimed to fight against infectious or other diseases prevalent in Africa or to improve public health in Africa
- The activity has broad and direct impact on the improvement of health and welfare of the African people, particularly the poor and contributes to achieving universal health coverage.
- The activities have been carried out on-site for more than 5 years under a defined goal and structured plan. They should have results that can be sustainably developed, allowing other regions of Africa with similar conditions to derive reference or training possibilities from the results.
- The Activities need to have evidence in scientific journals, accounting documents, reports, etc.
- The activities should not be biased to the extent that beneficiaries are neither to be selected nor rejected based on their political, ideological or religious backgrounds.

4. NOMINATION INFORMATION

Please fill out the attached HIDEYO NOGUCHI AFRICA PRIZE NOMINATION FORM following the instructions below. Please note that the evaluation of the nominee's contributions will depend heavily on the quality of information supplied in your nomination forms. Therefore, your nomination should be accurate, detailed and current. Please prepare all documents in English. The nominator and nominee may not be the same person.

- Please provide a brief description of the nominee's contributions in the area of medical research or medical services within the context of the Prize's concept. (about 50 words)
- Please provide the titles of publications that represent the nominee's contributions. (Please mark 4-5 of best publications among them if there are many.)
- Please outline how and why the research/activity of the nominee has contributed to the advancement and improvement of measures against infectious and other diseases prevalent in Africa, if any. (about 2 pages)
- Please present a brief biography including academic, administrative and/or research positions, awards and/or recognitions.
- Please arrange for other specialists familiar with the nominee's work to provide supporting letters. (up to 5 letters)

Please note that nomination forms may be downloaded from either the Cabinet Office website (<http://www.cao.go.jp/noguchisho/english/index.html>) or the JSPS website (<https://www.jsps.go.jp/english/e-noguchiafrica/index.html>).

5. SUBMISSION ADDRESSES

For medical research nominations, please use the JSPS electronic application system. (If not possible, please put your nomination in MS WORD or PDF format and email it to the below address.)

For medical services nominations, please put your nomination in MS WORD or PDF format and email it to the below address.

If necessary, nominations may be submitted by postal mail. However, please do not fax your nominations.

■ Medical Research

Hideyo Noguchi Africa Prize Medical Research Selection Committee

Japan Society for the Promotion of Science

5-3-1 Kojimachi, Chiyoda-ku, Tokyo 102-0083 Japan

Electronic Application System URL : <https://www.jsps.go.jp/english/e-noguchiafrica/index.html>

E-mail: nh-africa@jsps.go.jp

■ Medical Services

Hideyo Noguchi Africa Prize Medical Services Selection Committee

WHO Regional Office for Africa (AFRO)

Cité du Djoué, P.O. Box 06 Brazzaville, Republic of Congo

E-mail: noguchiprize@who.int (accessible from mid-April, 2018)

6. DEADLINE

The nominations and supporting letters must reach the respective secretariat by no later than July 31st, 2018.

7. ENQUIRIES

■ Medical research nominations

Hideyo Noguchi Africa Prize Medical Research Selection Committee
Japan Society for the Promotion of Science (JSPS)
5-3-1 Kojimachi, Chiyoda-ku, Tokyo 102-0083 Japan
Tel: +81-3-3263-1938/1883
E-mail: nh-africa@jsps.go.jp
URL : <https://www.jsps.go.jp/english/e-noguchiafrica/index.html>

■ Medical services nominations

Hideyo Noguchi Africa Prize Medical Services Selection Committee
WHO Regional Office for Africa (AFRO)
Cité du Djoué, P.O. Box 06 Brazzaville, Republic of Congo
Tel: + (47 241) 39100 / + (47 241) 39695 / + (242) 05770202
E-mail: noguchiprize@who.int (to be accessible from mid-April, 2018)
URL : <http://www.noguchiprize.afro.who.int/>

■ General information about the Prize

Office of Hideyo Noguchi Africa Prize, Cabinet Office, Tokyo
Tel: +81-3-5501-1774, Fax: +81-3-3502-6255
E-mail: g.noguchi-prize@cao.go.jp
URL : <http://www.cao.go.jp/noguchisho/english/index.html>

**HIDEYO NOGUCHI AFRICA PRIZE
NOMINATION FORM**

March 2018

Please check the appropriate category (you may not choose both categories).

- Medical Research**
 Medical Services

Nominee

Name _____
Gender

Designation

Organization Name

Address

Telephone _____ Fax _____ E-mail Address

Nationality _____ Date of Birth

Nominator

Name

Designation

Organization Name

Address

Telephone _____ Fax _____ E-mail Address

(P.T.O.)

Please attach a brief statement regarding the following subjects.

- Brief description of the nominee's contributions in the area of medical research or medical services within the context of the Prize's concept. (about 50 words)
- Titles of publications that represent the nominee's contributions.
(Please mark 4-5 of best publications among them if there are many.)
- Additional short introduction outlining how and why the research/activity of the nominee has contributed to the advancement and improvement of measures against infectious and other diseases prevalent in Africa, if any. (about 2 pages)
- Brief biography including academic, administrative and/or research positions, awards and/or recognitions.
- Supporting letters from other specialists familiar with the nominee's work. (up to 5 letters)